

時間割コード	G2B41018	開講年度	2026				
授業題目	生命保険を考える					担当教員	中村 理
英文授業名	Overview of the Life Insurance Business in Japan						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育1 2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	1．生活設計の考え方の基本、社会保障制度の概要やその主な保障内容を理解し、説明することができる。	
						2．現代生活に潜むリスク、生命保険の意義・役割、基本的な仕組み等を理解し、説明することができる。	
							3．公的保障と私的保障の関係や生命保険の活用について、大学生として自分なりの考察を加えて整理し、説明することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	生活設計とリスク管理の必要性、日本の公的保障（社会保障制度）について概観した後、少子・高齢化の一層の進展に伴う社会保障制度の諸課題を背景に、生活設計の立て方、公的保障と私的保障のあり方と意義、自助努力の必要性や有効性について理解し、考察を深めます。 グループディスカッションも予定しています。 （一般社団法人生命保険協会による寄附講座です。実務経験豊富な現役ビジネスパーソンの講師が担当します。）						
(5)授業のキーワード	ライフプラン、リスク、金融、社会保障、実務経験、グループワーク						
(6)授業計画	第1回. オリエンテーション・生保総論 第2回. 生活設計とリスク管理 第3回. 社会保障制度概論 第4回. 公的保障と生命保険①-死亡・老後保障 第5回. 公的保障と生命保険②-医療・介護保障 第6回. 生命保険の契約関係 第7回. 生命保険と税金 第8回. 生命保険商品の変遷・動向 第9回. 生命保険と資産運用 第10回. グループディスカッション 第11回. 生命保険会社の社会的役割 第12回. トラブル対応（金融ADR制度） 第13回. 生命保険会社の組織と業務 第14回. 隣接業界 第15回. 総括、授業アンケート 期末試験は行いません。 講義予定については初回の講義で説明しますが、概ね上記の通りです。 ゲストスピーカーによる講義も交えて進めますので、状況に応じて内容・順番を見直す場合があります。						
(7)成績評価の方法	期末試験は行いません。成績の配分は次の通りとします。 ○各回小レポート（第2回～第14回授業）：65点（各回提出につき5点相当）。 小レポートのテーマは、毎回の授業で発表します。次の3点に留意し、簡潔かつ読み手に伝わるように記述ください。 1．各回の講義を受けて、問われているテーマについて具体的に書く 2．その回答に至るまでの経緯・根拠を示す 3．講義を受けて興味・感心を持った点を記載し、質問があれば書く 本レポートは「宿題」であり、eALPSを使って毎回期限までに提出ください。 ○期末レポート：35点 ○いずれも授業において書き方、提出の仕方を説明します。なお4回以上レポートを提出しなかった受講生には単位が認定されません。						
(8)成績評価の基準	○各回小レポート：以下の2点を重視して評価を行います。 1．各回設定のテーマについて解りやすく具体的に（受講していない人が読んでも理解できる程度に）書かれているか。 2．その回答に至った根拠、自分が興味を持った事柄やその理由が明確に書かれているか。 ○期末レポート：以下の基準で評価します。 授業で学んだことを踏まえて、自分の考えを適切な言葉で記述しているか。 ※両レポートの合計点が90点以上で「卓越している」80-89点で「かなり上にある」70-79点で「やや上にある」60-69点で「合格水準にある」と評価します。						

(9)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって60時間以上の時間外学習が必要となります。 【事前学習】 毎回のテーマに関連して、メディア等を通じて情報収集し、課題認識の向上を図ると、より講義が楽しく理解できるようになります。生活設計上のリスク、社会保障制度の諸課題と生命保険および生命保険業界の果たしている役割に関心をもって授業に臨むことを期待します。 【事後学習】 講義資料を基に、Web上公開されているデータや各種HPも活用し、自身の生活設計や経済的リスク、その対策について自分なりに考察を深めることを期待します。
(10)履修上の注意	単位の修得には、授業に出席するだけでなく、授業時間外学習を行う必要があります。 内容は「(7) 事前事後学修の内容」に記載のとおりです。
(11)質問,相談への対応	個別の質問・相談については各回のレポートに記載するか、メールでご連絡ください。 メールアドレスはeALPSを確認してください。
(12)授業への出席	本授業は「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席した場合を含み、3回までは配慮をします。 授業の出欠は、出席確認システムと毎週の課題の提出で確認します。なお、着席登録ができなかった場合は、授業終了後に担当教員に速やかに申し出てください。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。
【教科書】	指定しません。 毎回の講義資料は事前にeALPSに掲載します。冊子等を教室で配布することがあります。
【参考書】	指定しません。